



平成27年度

下野市教育委員会点検・評価報告書

[平成26年度事業]



下野市教育委員会

2015

目 次

1. はじめに	P 1
(1) 趣 旨	
(2) 点検評価の対象	
(3) 点検評価の方法	
2. 教育委員会議の開催状況	P 2
3. 教育委員会議における審議状況	P 3
審議状況一覧	P 4
(1) 選 挙	P 4
(2) 審議事項	P 4
(3) 報告事項	P 7
(4) 協議事項	P 9
(5) そ の 他	P 9
4. 教育委員会議以外での活動状況	P 1 1
5. 施策ごとの取組状況	P 1 6
(施策1) 次代を担う人材の育成	P 1 6
(施策2) 生涯にわたる学びの機会の充実	P 1 7
(施策3) 豊かに暮らす文化の振興	P 1 8
6. 評価シート総括表	P 2 0
7. 外部評価委員会の開催	P 2 0
8. 評価シート個別表	P 2 1
9. 外部評価委員会委員	P 3 8
10. 外部評価委員会委員長による評価のまとめ	P 3 8
関係資料	
1. 下野市教育委員会事務局組織図	
2. 下野市教育委員会点検評価に関する条例	

1. はじめに

(1) 趣旨

下野市教育委員会では、下野市総合計画後期基本計画（平成24年度～平成27年度）」に基づき、市民と行政との協働を基調とした「心豊かに暮らせる、創造と躍進のまち」を目指し、平成26年3月に「下野市教育計画26・27年度版」を策定しました。

下野市教育計画は、「みんなで学び文化を育むふれあいのまちづくり」を基本目標に、①「次代を担う人材の育成」②「生涯にわたる学びの機会の充実」③「豊かに暮らす文化の振興」を3つの柱として、教育行政の様々な施策や事業を推進する上での、基本的な方向性と具体的な内容を示すものとなっています。

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会においては、毎年教育行政事務の管理及び執行状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告すると共に市民に公表することとされました。

下野市教育委員会では、基本目標に沿って、具体的な教育行政の執行状況や、今後のあり方等について教育委員会自ら検証し、また、外部評価委員のご意見をいただきながら、平成20年度から点検評価を実施してまいりました。

今回で8回目となるこの報告は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条及び「下野市教育委員会点検評価に関する条例」の規定に基づき、平成26年度の下野市教育委員会に関わる事務事業について、効果的な教育行政の推進に資するため、点検及び評価を実施した結果を報告書としてまとめました。

なお、下野市総合計画は本年度が最終年度となるため、平成28年度からは新たな計画のもと、教育行政を推進することになります。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律 【抜 粋】

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検評価の対象

昨年の外部評価委員のご意見を受け、平成27年度から、点検評価の対象及び評価方法の見直しを行いました。

点検評価にあたっては、下野市総合計画後期基本計画に基づく施策のうち平成26年度に実施した教育委員会所管の主な事業から、教育委員会において各課3事業を選択しました。そのうちの1事業は、昨年に外部評価を実施したものを選択し、継続的な評価ができるようにしました。

(3) 点検評価の方法

- (ア)点検評価にあたっては、施策・事業の執行状況を明らかにするとともに、課題等を分析検討したうえで、今後の対応方向を記述しました。
- (イ)点検評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方など外部の方々のご意見をお聞きする機会を設けるため、4名を選任し外部評価委員会を開催いたしました。
- (ウ)教育委員会事務局は、各課で作成した点検評価シートに基づき、事業の説明を行い、その後外部評価委員からのヒアリングを実施しました。事業の評価については、会議における委員の総意に基づき、昨年度までは総合評価をA～Cの3段階とコメントで表示していましたが、記載しきれない貴重なご意見が埋もれてしまうという課題がありました。そこで、これまでのA～C評価を廃止し、会議終了後に外部評価委員より評価の結果を文書をもって提出いただき、各課ごとに集約いたしました。また、巻末には評価の総括として「外部評価委員会委員長による評価のまとめ」を付しました。

2. 教育委員会議の開催状況

教育委員会では、下野市教育委員会会議規則第4条第1項に基づき毎月開催の「定例会」と、同規則第4条第2項に基づき、急を要し委員長が必要と認めた「臨時会」を開催しています。平成26年度は合計14回の会議を開催しました。

開かれた教育委員会を目指し、平成23年度から導入した「出前教育委員会」は、今年で4年目を迎え、教育委員会の審議状況や委員の活動状況等を市民の方に知っていただく重要な機会となっています。

また、委員自らが学校行事や市の行事はもとより、地域活動にも積極的に貢献することで、見える教育委員会を行動でPRしています。

- (1) 教育委員会定例会・・・・・・・・・・ 12回
- (2) 教育委員会臨時会・・・・・・・・・・ 2回



石橋北小学校で開催された出前教育委員会の様子

3. 教育委員会議における審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第2項及び「下野市教育委員会教育長に対する事務委任規則」の規定に基づき、平成26年度は合計76件について審議しました。

- (1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針・・・・・・・・・・ 1件
- (2) 教育委員会規則・規程・要綱の制定及び改廃・・・・・・・・・・ 35件
- (3) 職員の人事に関する事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2件
- (4) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案についての意見申出・・・・ 0件
- (5) 教科用図書採択に関する事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件
- (6) その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37件
 - 各種委員の委嘱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28件
 - 諮問・答申・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7件
 - その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2件

※ 審議案件のほか、報告事項、協議事項、その他についても取り扱いました。

- (1) 報告事項・・・・・・・・・・ 79件
- (2) 協議事項・・・・・・・・・・ 11件
- (3) 討議事項・・・・・・・・・・ 0件
- (4) その他・・・・・・・・・・ 39件

下野市教育委員会委員名簿(平成26年度在籍)

職 名	氏 名	任 期
委 員 長	永山 伸一	H26. 3. 25～H30. 3. 24
委員長職務代理者	川口 桂子	H23. 3. 25～H27. 3. 24
委 員	前原 久	H25. 4. 1～H29. 3. 31
委 員	三橋 明美	H24. 3. 25～H28. 3. 24
教 育 長	池澤 勤	H26. 3. 25～H30. 3. 24

審議状況一覧

(1)選挙 1件

番号	件 名	協議日
1	下野市教育委員会委員長の選挙について	平成27年3月25日

(2)審議事項 76件

番号	件 名	提出日	分類(※)
1	下野市教育委員会点検評価外部評価委員会委員の委嘱について	平成26年4月17日	(6)委
2	下野市教育相談員の免職について	平成26年4月17日	(6)委
3	下野市教育相談員の委嘱について	平成26年4月17日	(6)委
4	下野市ふれあい学習推進委員会設置要綱の一部改正について	平成26年4月17日	(2)
5	下野市文化芸術活動拠点整備検討委員会設置要綱の制定について	平成26年5月19日	(2)
6	文化芸術活動拠点整備プロジェクトチーム設置要綱の制定について	平成26年5月19日	(2)
7	下野市立小中学校教科用図書選定委員会委員の委嘱について	平成26年5月19日	(6)委
8	下野市立小中学校教科用図書選定委員会への諮問について	平成26年5月19日	(6)諮
9	下野市就学支援委員会委員の委嘱について	平成26年5月19日	(6)委
10	下野市就学支援委員会への諮問について	平成26年5月19日	(6)諮
11	下野市立国分寺給食センター運営委員会委員に委嘱について	平成26年5月19日	(6)委
12	下野市就学支援委員会条例施行規則の一部改正について	平成26年5月19日	(2)
13	下野市社会教育委員の委嘱について	平成26年5月19日	(6)委
14	下野市公民館運営審議会委員の委嘱について	平成26年5月19日	(6)委
15	下野市図書館協議会委員の委嘱について	平成26年5月19日	(6)委
16	下野市ふれあい学習推進委員会委員の委嘱について	平成26年5月19日	(6)委
17	下野市少年スポーツ指導員の委嘱について	平成26年5月19日	(6)委

18	下野薬師寺歴史館嘱託員の委嘱について	平成26年5月19日	(6)委
19	下野市適応指導教室運営要綱の一部改正について	平成26年6月20日	(2)
20	下野市スポーツ推進計画策定業務標準型プロポーザル実施要項の制定について	平成26年6月20日	(2)
21	平成27年度下野市立小中学校教科用図書採択について	平成26年7月17日	(5)
22	下野市文化芸術活動拠点整備検討委員会設置要綱の一部改正について	平成26年7月17日	(2)
23	文化芸術活動拠点整備プロジェクトチーム設置要綱の一部改正について	平成26年7月17日	(2)
24	下野市文化芸術活動拠点整備検討委員会への諮問について	平成26年7月17日	(6)諮
25	下野市立小中学校管理規則の一部改正について	平成26年7月17日	(2)
26	下野市スポーツ推進審議会委員の任命について	平成26年7月17日	(6)委
27	下野市スポーツ推進審議会への諮問について	平成26年7月17日	(6)諮
28	下野市文化芸術活動拠点整備検討委員会委員の委嘱について	平成26年8月21日	(6)委
29	下野市教育相談員の設置等に関する規則の一部改正について	平成26年8月21日	(2)
30	下野市教育相談員の解職について	平成26年8月21日	(6)委
31	下野市体育施設使用料の改定について	平成26年8月21日	(2)
32	下野市体育施設条例施行規則の一部改正について	平成26年8月21日	(2)
33	下野市体育施設等使用料減免規程の一部改正について	平成26年8月21日	(2)
34	下野市就学支援委員会の判定結果について(第1回答申)	平成26年9月25日	(6)諮
35	平成26年度下野市児童表彰に関する被表彰候補児童の内申について	平成26年9月25日	(6)他
36	下野市教育委員会表彰規則の一部改正について	平成26年9月25日	(2)
37	下野市教育委員会優秀優良教職員選考実施要領の制定について	平成26年9月25日	(2)
38	下野市スクールアシスタント設置規則の一部改正について	平成26年9月25日	(2)
39	下野市スクールアシスタントの解職について	平成26年9月25日	(6)委
40	下野市スクールアシスタントの委嘱について	平成26年9月25日	(6)委
41	平成27年度小・中学校職員定期異動方針について	平成26年10月16日	(1)
42	下野市就学支援委員会の判定結果について(第2回答申)	平成26年11月20日	(6)諮
43	下野市通学路安全推進会議設置要綱の制定について	平成26年11月20日	(2)
44	下野市外国語指導助手の解職について	平成26年11月20日	(6)委
45	下野市外国語指導助手の委嘱について	平成26年11月20日	(6)委
46	下野市就学支援委員会の判定結果について(第3回答申)	平成26年12月18日	(6)諮
47	平成26年度教育委員会表彰被表彰者の決定について	平成26年12月18日	(6)他
48	下野市スクールアシスタントの解職について	平成26年12月18日	(6)委
49	下野市文化財有償刊行物取扱要綱の一部改正について	平成26年12月18日	(2)
50	平成27年度教育相談員の委嘱について	平成27年2月19日	(6)委
51	平成27年度スクールアシスタントの委嘱について	平成27年2月19日	(6)委
52	平成27年度下野市外国語指導助手の委嘱について	平成27年2月19日	(6)委

53	平成27年度下野市社会教育指導員の委嘱について	平成27年2月19日	(6)委
54	下野市校務用コンピュータ利用規程の制定について	平成27年2月19日	(2)
55	下野市教育情報ネットワーク利用規程の一部改正について	平成27年2月19日	(2)
56	平成27年度下野市教職員の人事異動について	平成27年2月26日	(3)
57	平成27年度下野市スクールアシスタントの委嘱について	平成27年3月19日	(6)委
58	平成27年度下野市立小中学校学校評議員の委嘱について	平成27年3月19日	(6)委
59	下野市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	平成27年3月19日	(6)委
60	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整理に関する規則の制定について	平成27年3月19日	(2)
61	下野市教育委員会公印規程の一部改正について	平成27年3月19日	(2)
62	下野市教育委員会事務局組織規則の一部改正について	平成27年3月19日	(2)
63	行政組織の改編に伴う関係規則の整理に関する規則の制定について	平成27年3月19日	(2)
64	行政組織の改編に伴う関係告示の整理に関する告示の制定について	平成27年3月19日	(2)
65	行政組織の改編に伴う関係訓令の整理に関する訓令の制定について	平成27年3月19日	(2)
66	下野市文化芸術活動拠点整備検討委員会設置要綱の廃止について	平成27年3月19日	(2)
67	文化芸術活動拠点整備プロジェクトチーム設置要綱の廃止について	平成27年3月19日	(2)
68	下野市学校適正配置基本計画策定委員会設置要綱の廃止について	平成27年3月19日	(2)
69	下野市通学路安全推進会議設置要綱の一部改正について	平成27年3月19日	(2)
70	下野市立図書館運営規則の一部改正について	平成27年3月19日	(2)
71	下野市立史跡公園等展示施設条例施行規則の一部改正について	平成27年3月19日	(2)
72	下野市歴史資料等の取扱いに関する規則の制定について	平成27年3月19日	(2)
73	下野薬師寺歴史館嘱託職員設置規則の一部改正について	平成27年3月19日	(2)
74	下野市体育施設条例施行規則の一部改正について	平成27年3月19日	(2)
75	下野市教育委員会委員長職務代理者の指定について	平成27年3月25日	(3)
76	平成27年度スクールアシスタントの委嘱について	平成27年3月25日	(6)委

(3)報告事項 79件

番号	件名	報告日
1	教育委員会後援等の承認について	平成26年4月17日
2	寄附受け入れについて	平成26年4月17日
3	国指定史跡下野国分寺跡保存完成記念事業について	平成26年4月17日
4	教育委員会後援等の承認について	平成26年5月19日
5	寄附受け入れについて	平成26年5月19日
6	平成26年度就学援助費認定状況について	平成26年5月19日
7	平成26年度中学校春季体育大会の成績について	平成26年5月19日
8	下野市指定等文化財保存管理等事業補助金交付要綱について	平成26年5月19日
9	平成26年度第2回下野市議会定例会の報告について	平成26年6月20日
10	平成27年度下野市奨学生の募集について	平成26年6月20日
11	教育委員会後援等の承認について	平成26年6月20日
12	寄附の受け入れについて	平成26年6月20日
13	学校給食費の未納について	平成26年6月20日
14	平成26年度中学校春季体育大会の結果報告について	平成26年6月20日
15	下野市地域連携重点推進モデル事業補助金交付要綱の制定について	平成26年6月20日
16	平成26年度第9回下野市民体育祭ティーボール大会結果報告について	平成26年6月20日
17	栃木県立しもつけ風土記の丘資料館の移管について	平成26年6月20日
18	教育委員会後援等の承認について	平成26年7月17日
19	平成26年度下野市教育委員会点検・評価報告書について	平成26年8月21日
20	教育委員会後援等の承認について	平成26年8月21日
21	通学路の整備に関する請願について	平成26年8月21日
22	平成26年度中学校総合体育大会の結果について	平成26年8月21日
23	とちぎっ子学習状況調査結果の報告について	平成26年8月21日
24	一般財団法人グリムの里いしばし平成25年度経営状況報告について	平成26年8月21日
25	下野市都市公園条例施行規則の一部改正について	平成26年8月21日
26	平成26年度第3回下野市議会定例会の報告について	平成26年9月25日
27	教育委員会後援等の承認について	平成26年9月25日
28	平成26年度中学校体育大会の関東大会・全国大会の結果について	平成26年9月25日
29	下野国分寺跡保存整備完成記念事業「しもつけ薪能」能楽体験教室開催結果及び薪能鑑賞講座の開催について	平成26年9月25日
30	しもつけ市民芸術文化祭2014について	平成26年9月25日
31	下野市スポーツ推進計画策定業務に係る標準型プロポーザルにおける企画提案の特定者の報告について	平成26年9月25日
32	平成26年度第9回下野市民体育祭キンボールスポーツ大会結果報告について	平成26年9月25日

33	教育委員会後援等の承認について	平成26年10月16日
34	寄附金受け入れについて	平成26年10月16日
35	平成26年度全国学力・学習状況調査結果について	平成26年10月16日
36	平成26年度中学校新人大会の主な結果報告について	平成26年10月16日
37	平成26年度学校教育サポートセンター上半期事業報告について	平成26年10月16日
38	通学路の安全点検状況について	平成26年10月16日
39	第9回下野市体育祭運動会(石橋地区・国分寺地区)及び南河内地区スポーツフェスティバルの結果報告について	平成26年10月16日
40	教育委員会後援等の承認について	平成26年11月20日
41	寄附金等受け入れについて	平成26年11月20日
42	平成26年度中学校新人大会(県大会)の主な結果報告について	平成26年11月20日
43	グリムの森・グリムの館施設における指定管理者の指定について	平成26年11月20日
44	第9回天平マラソン大会(通算41回)開催実施体制について	平成26年11月20日
45	平成26年第4回下野市議会定例会の報告について	平成26年12月18日
46	教育委員会後援等の承認について	平成26年12月18日
47	寄附金等受け入れについて	平成26年12月18日
48	第9回下野市南河内地区一周駅伝競走大会の結果報告について	平成26年12月18日
49	平成27年度教育委員会主要日程(案)について	平成27年1月15日
50	下野市立小中学校の卒業式及び入学式について	平成27年1月15日
51	大松山運動公園拡張整備基本設計(素案)について	平成27年1月15日
52	第9回下野市天平マラソン大会の結果報告について	平成27年1月15日
53	全国学力・学習状況調査の分析結果について	平成27年1月15日
54	教育委員会後援等承認について	平成27年2月19日
55	平成27年度下野市学校教育計画について	平成27年2月19日
56	下野市通学路交通安全プログラム策定について	平成27年2月19日
57	史跡まつりの開催について	平成27年2月19日
58	教育財産から普通財産への用途変更について	平成27年2月19日
59	普通財産から教育財産への用途変更について	平成27年2月19日
60	下野市文化芸術活動拠点整備検討委員会答申の報告について	平成27年3月19日
61	平成27年第1回定例議会の報告について	平成27年3月19日
62	平成27年度当初予算概要について	平成27年3月19日
63	教育委員会後援等の承認について	平成27年3月19日
64	平成27年度教育研究所要覧について	平成27年3月19日
65	下野市生涯学習推進実施計画について	平成27年3月19日
66	生涯学習情報誌「エール」について	平成27年3月19日

67	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	平成27年3月19日
68	下都賀地区視聴覚ライブラリー協議会規約の一部変更について	平成27年3月19日
69	下野市生涯学習推進本部設置要綱及び下野市生涯学習推進協議会運営要綱の一部改正について	平成27年3月19日
70	下野市都市公園条例の一部改正について	平成27年3月19日
71	しもつけ風土記の丘資料館管理運営規則の制定について	平成27年3月19日
72	下野市都市公園条例施行規則の一部改正について	平成27年3月19日
73	下野市体育施設条例の一部改正について	平成27年3月19日
74	下野市オープンキョウポールスポーツ大会2015の結果報告について	平成27年3月19日
75	総合教育会議設置要綱(案)について	平成27年3月25日
76	下野市管理職員等の範囲を定める規則の一部改正について	平成27年3月25日
77	下野市職員等の公益通報に関する要綱の一部改正について	平成27年3月25日
78	下野市不当要求行為の対策に関する要綱の一部改正について	平成27年3月25日
79	下野市職員の人事評価に関する実施規程の一部改正について	平成27年3月25日

(4)協議事項 11件

番号	件名	協議日
1	下野市生涯学習推進協議会専門部会の推進について	平成26年4月17日
2	平成26年度教育委員学校及び幼稚園訪問日程について	平成26年5月19日
3	平成26年度教育委員会点検・評価事業について	平成26年5月19日
4	第9回教育のつどい(素案)について	平成26年6月20日
5	通学路の整備に関する請願について	平成26年7月17日
6	第9回教育のつどい(案)について	平成26年9月25日
7	議会教育福祉常任委員と教育委員の懇談について	平成26年9月25日
8	新教育委員会制度について	平成26年9月25日
9	第9回下野市教育のつどい開催計画について	平成26年12月18日
10	下野市民生委員推薦会の推薦会委員の選出について	平成26年12月18日
11	教育委員の審議会への推薦について	平成27年3月25日

(5)その他 39件

番号	件名	協議日
1	国指定史跡下野国分寺跡保存完成記念事業の報告について	平成26年5月19日
2	下野市市歌制定委員会について	平成26年6月20日
3	平成26年度下野市教職員合同全体研修会の開催について	平成26年6月20日
4	平成26年度自治医科大学公開講座について	平成26年6月20日

5	高藤直寿選手下野市後援会の設立と会員募集について	平成26年6月20日
6	平成26年度下野市教育委員会点検評価の経過について	平成26年7月17日
7	『しもつけ薪能』出演者によるワークショップの開催について	平成26年7月17日
8	教育委員会制度改革について	平成26年8月21日
9	教育福祉常任委員との懇談会開催計画について	平成26年8月21日
10	平成26年度下野市立小学校運動会の時間変更について	平成26年8月21日
11	平成26年度自治医科大学公開講座実施報告について	平成26年9月25日
12	平成26年度教育委員と保護者との懇談会について	平成26年9月25日
13	学校訪問について	平成26年9月25日
14	平成26年度栃木県市町村教育委員会委員研修会について	平成26年10月16日
15	平成26年度下野市人権教育講演会について	平成26年10月16日
16	第7回下野市生涯学習情報センターまつりについて	平成26年10月16日
17	平成27年度下野市社会教育指導員募集について	平成26年10月16日
18	平成26年度下野市立小中学校卒業式について	平成26年11月20日
19	平成27年度下野市立小中学校入学式について	平成26年11月20日
20	平成26年度下野市教職員全体研修会(研究発表会)について	平成26年11月20日
21	平成26年度「下野市教育委員と保護者との懇談会」開催要項について	平成26年11月20日
22	平成27年成人式実施要項(案)について	平成26年11月20日
23	消費税の引き上げに伴う使用料・手数料等の改定について	平成26年11月20日
24	HPIにおける保護者委員の記載について	平成26年11月20日
25	平成27年度教育委員会定例会日程について	平成26年12月18日
26	公民館まつりの開催について	平成27年1月15日
27	天平の丘公園の都市公園化について	平成27年2月19日
28	平成27年度第1回教職員全体研修会(教育行政説明会)の開催について	平成27年2月19日
29	ひと・まちづくり講演会について	平成27年2月19日
30	平成26年度下野市市民人権講座について	平成27年2月19日
31	教職員退職辞令交付式及び着任式について	平成27年2月26日
32	平成27年度教育委員会主要日程について	平成27年3月19日
33	教育委員会事務局職員の異動について	平成27年3月25日
34	教育委員の今後の予定について	平成27年3月25日
35	平成27年度下野市教育委員会主要日程について	平成27年3月25日
36	平成27年度下野市立小中学校入学式について	平成27年3月25日
37	平成27年度下野市第1回下野市教職員全体研修会について(通知)	平成27年3月25日
38	平成27年度下野市立小中学校 運動会・体育祭について(通知)	平成27年3月25日
39	平成27年度下野市立小中学校 学校祭・学習発表会について(通知)	平成27年3月25日

4. 教育委員会議以外での活動状況

教育委員は教育委員会議以外に、学校訪問や各種行事等にも参加しました。

(1) 教育委員会連合会等への参加

栃木県市町村教育委員会連合会総会・全体会・研修会

下都賀地区市町教育委員会連合会定例会

下都賀地区市町教育委員会連合会学事視察

下都賀地区市町教育委員会連合会全体研修会

(2) 学校訪問及び幼稚園訪問

南河内第二中学校、石橋北小学校、細谷小学校、国分寺小学校、薬師寺幼稚園



【南河内第二中学校での授業参観】



【石橋北小学校での教職員との懇談】

◆学校訪問

※各学校の児童生徒数、学級数は平成26年5月1日現在

学校名	期 日
石橋北小学校	平成26年6月20日 午前11時30分～午後4時30分
児童数・学級数	児童数 219名 学級数 9学級
訪問内容	・ 学校概要説明 ・ 給食会食 ・ レインボータイム参観 ・ 授業参観 ・ 出前教育委員会 ・ 教職員との懇談会

学校名	期 日
細谷小学校	平成26年6月30日 午前11時30分～午後3時30分
児童数・学級数	児童数 29名 学級数 4学級
訪問内容	・ 学校概要説明 ・ 給食会食 ・ 英語タイム(全校英語活動) ・ 授業参観・校内巡視 ・ 教職員との懇談会

学 校 名	期 日
国分寺小学校	平成 26 年 9 月 26 日 午後 0 時～午後 3 時
児童数・学級数	児童数 571 名 学級数 20 学級
訪問内容	・ 日程説明 ・ 給食会食 ・ 学校概要説明 ・ 授業参観 ・ 教職員との懇談会

学 校 名	期 日
南河内第二中学校	平成 26 年 10 月 2 日 午後 0 時～午後 4 時 30 分
生徒数・学級数	生徒数 462 名 学級数 17 学級
訪問内容	・ 日程説明 ・ 給食会食 ・ 学校概要説明 ・ 授業参観 ・ 教職員との懇談会

◆私立幼稚園訪問（市内7園の内）

幼稚園名	期 日
薬師寺幼稚園	平成 26 年 10 月 2 日 午前 10 時 30 分～午前 11 時 30 分
児童数等	・ 定員 350 名 ・ 園児数 430 名 ・ 教職員 70 名
訪問内容	・ 幼稚園の概要、教育方針等について ・ 施設見学

◆教育福祉常任委員との懇談会

期 日	平成 26 年 11 月 20 日 午後 1 時 30 分～午後 3 時
出席者	市議会教育福祉常任委員 6 名、教育委員 5 名、 教育次長、各課長、事務局
懇談内容	新教育委員会制度について

◆保護者との懇談会

期 日	平成 26 年 12 月 18 日 午後 7 時～午後 9 時
出席者	教育委員 5 名、小中学校 PTA 16 名、事務局
懇談内容	「青少年の情報モラル」

(3) その他

下野市採択地区教科用図書選定委員会	下野市ふれあい学習推進委員会
下野市生涯学習推進協議会	下野市公民館運営審議会
下野市文化財保護審議会	下野市スポーツ推進審議会 他

教育委員会議以外の活動状況一覧

月	教育委員会議	各種行事・大会	学校訪問等	その他
4月	1回	学校教職員辞令交付式 教職員全体研修 小学校・中学校入学式 小中校長会		県市町村教育長会議 県教育委員会教育長人権教育連絡会議 県市町村教育委員会連合会教育長部会総会 市教職員協議会 市地域婦人会総会 市スポーツ推進委員会総会 市スポーツ推進審議会 市文化協会総会 下地区市町教育委員会連合会定例会
5月	1回	小学校運動会・中学校体育祭 小中校長会 国分寺跡完成記念式典		都市教育長協議会 市体育協会評議員会（総会） 市PTA連絡協議会総会 市スポーツ少年団総会 関東地区都市教育長協議会総会 市青少年育成市民会議総会 下地区教育長部会 市文化財保護審議会 関東地区都市教育長協議会総会 グリムの里いしばし評議員会 関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会 市幼保小連携連絡協議会
6月	1回	小学校運動会・中学校体育祭 市民体育祭テニール大会 小中校長会	石橋北小学校 (出前教育委員会) 細谷小学校	市点検評価委員会 市教科用図書選定委員会 下地区教育長部会 市国分寺給食センター運営委員会 ふれあい学習推進委員会 市図書館協議会 市公民館運営審議会 市社会教育委員会
7月	1回			下都賀地区教育委員会連合会学事視察 下地区教育長部会 市スポーツ推進審議会 生涯学習推進協議会第1回専門部会全体会議 市教科用図書選定委員会 市点検評価委員会 市PTA連絡協議会総会

月	教育委員会議	各種行事・大会	学校訪問等	その他
8月	1回	教職員全体研修会 小中校長会 市幼稚園連合会キッズフェスティバル		市生涯学習推進協議会及び専門部会合同研修会 市就学支援委員会 生涯学習推進本部・専門部会合同研修会 文化芸術活動拠点整備検討委員会（第1回） 下地区市町教育委員会連合会全体研修会 下地区教育長部会
9月	1回	小学校運動会・中学校体育祭 市民体育祭キンボール大会 敬老会 市小中学校音楽祭 小中校長会 グリムの森フェスティバル	国分寺小学校	下地区教育長部会 県民スポーツ大会選手結団式 甲塚古墳保存整備委員会
10月	1回	市民体育祭運動会 芸術鑑賞会 小中校長会 南河内地区スポーツフェスティバル 市民芸術文化祭	南河内第二中学校 薬師寺幼稚園 児童表彰	下都賀地区教育長部会 下地区市町教育委員会連合会定例会 人事問題協議会 県市町村教育委員会連合会市教育長部会 下都賀地区教頭会研究発表会 市公民館運営審議会 人事問題協議会 下野市薬師寺跡保存整備委員会
11月	1回	小中校長会 小・中学校文化祭・市民文化祭	児童表彰	栃木県市町村教育委員会連合会総会研修会・全体研修会 第23回栃木教育振興大会 市スポーツ推進審議会 市就学支援委員会 市社会教育委員会 市議会常任委員との教育懇談会 下地区教育長部会
12月	1回	市人権教育講演会 南河内地区一周駅伝競走大会 スポーツ少年団SHIPS大会 下野市人権教育講演会 文化遺産フェスティバル		下地区教育長部会 教育委員と保護者との懇談会 市図書館協議会 市生涯学習推進本部

月	教育委員会議	各種行事・大会	学校訪問等	その他
1月	1回	天平マラソン大会 成人式 賀詞交歓会 市教育のつどい 群市町対抗駅伝大会 小中校長会		下地区教育長部会 人事問題協議会 B&G全国サミット
2月	2回	各館公民館まつり		下地区教育長部会 市文化財保護審議会 社会教育委員・公民館運営審議会・図書館協議会合同会議 下地区市町教育委員会連合会定例会 市スポーツ推進審議会
3月	2回	小学校・中学校卒業式 薬師寺史跡まつり 学校教職員退職辞令交付式 下野オープンキンボールスポーツ大会 小中校長会		市ふれあい学習推進委員会 市社会教育委員会

5. 施策ごとの取組状況

平成26年度に実施した事務事業については、平成20年3月に策定された「下野市総合計画」の基本施策に基づき、次に掲げる3つに分類しました。

- (1) 次代を担う人材の育成
- (2) 生涯にわたる学びの機会の充実
- (3) 豊かに暮らす文化の振興

教育委員会においては、各課3事業を選定し、「平成27年度 教育委員会の点検・評価シート（平成26年度事業）」を作成し、内部で点検・評価を行い、その後、外部評価をいただき意見をまとめました。

(施策1) 次代を担う人材の育成

<基本方針>

今日、子どもを取り巻く社会環境は日々変化しています。教育現場においても様々な問題や課題があり、それらを適切に判断し解決していくことが必要です。また、次代を担う子どもたちの育成のためには、学校・家庭・地域社会の三者が一体となり、共通理解のもと教育活動を進めていくことが大切です。「下野市学校教育計画」における学校教育目標を達成し、知・徳・体のバランスのとれた子どもたちを育成するために、教職員のさらなる資質向上に努め、児童生徒の学力向上と豊かな心、健やかな体の育成に努めます。

小・中学校の配置については、児童・生徒数が減少傾向にあることから、当市にふさわしい良好な教育環境の充実を目指して、学校規模の適正化を推進していきます。

また、児童の自己有用感を育むための「児童表彰」については、下野市の特色ある取組みの一つであるため、継続的に実施していきます。

学校等の施設については、児童生徒や地域の避難場所としての安全性を確保するとともに、老朽化等に対応した施設整備を進めていきます。

<H26年度事業一覧>

教育総務課	<ul style="list-style-type: none">○教育委員会運営事業○教育総務運営事業○学校適正配置推進事業○奨学金貸付事業○児童表彰事業○幼稚園・保育園・小学校連携事業○文化芸術活動拠点整備検討事業○小中学校施設管理事業
-------	--

教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校施設整備事業 ○小中学校空調設備設置事業 ○小中学校改修事業 ○学校給食施設改修事業 ○小学校屋内運動場改修事業
学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育運営事業 ○児童生徒就学援助費事業 ○スクールアシスタント配置事業 ○教育研究振興事業 ○下野子ども力発動プロジェクト事業 ○教育情報ネットワーク活用事業 ○エス・アンド・ユーラボ事業 ○児童生徒英語教育推進事業 ○小中学校教科用図書選定事業 ○ユースサポート事業 ○特別支援教育推進事業 ○学校教育サポート事業 ○エネルギー教育推進事業 ○小中学校給食管理事業 ○学校給食センター管理事業 ○学校給食推進事業 ○小中学校共通管理事業 ○小中学校コンピュータ管理事業

(施策2) 生涯にわたる学びの機会の充実

＜基本方針＞

市民が生涯にわたって豊かな人生を送ることができる下野市の実現を目指し、生涯学習による「ひとづくり」と「まちづくり」を行います。

「ひとづくり」では、個人の向上に必要な学習を提供し、生活課題や健康、生きがいを、「まちづくり」では、社会の向上に必要な学習を提供し、市政への参画と協働、地域コミュニティの醸成や地域課題解決を支援します。

また、市の将来を担う子どもたちの健全育成は、特に重要な課題となっています。青少年の健全育成に必要な学習の提供を行うとともに、学校や家庭、地域が連携した地域全体での取り組みを支援していきます。

生涯にわたるスポーツ活動を通じた市民一人ひとりの健康維持や体力づくりと、豊かな地域社会の実現に向け、既存施設を十分活用しながら、誰もが親しむことができるスポーツの振興を図ります。

スポーツ施設の整備・機能充実については、利用者動向や維持経費を考慮し

ながら、適正な配置と機能の充実を進めるとともに、市民の一体感を醸成するスポーツ活動の機会の充実に努めます。

また、市民が集い多目的のスポーツ・レクリエーション活動ができる施設整備を図るため、大松山運動公園を拡張し、市民がスポーツを身近に楽しむことができるスポーツ活動の拠点となる本格的な運動公園の整備を進めます。

<H26年度事業一覧>

<p>生涯学習課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育総務事務事業 ○生涯学習推進事業 ○社会教育事業 ○青少年育成事業 ○人権教育事業 ○市民情報化推進事業 ○団塊の世代・セカンドステージ支援事業 ○生涯学習情報センター管理運営事業 ○公民館管理運営事業 ○公民館施設修繕事業 ○公民館改修事業 ○図書館共通管理運営事業 ○南河内図書館管理運営事業 ○図書館施設修繕事業
<p>スポーツ振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○保健体育総務事務事業 ○スポーツ推進計画策定事業 ○スポーツ振興事業 ○体育施設管理事業 ○体育施設改修事業 ○大松山運動公園拡張整備事業

(施策3) 豊かに暮らす文化の振興

<基本方針>

文化芸術を創造し、享受し文化的な環境の中で生きることは、世代を超えた市民の変わらない願いです。

また、文化芸術は、人々の創造性を育み、その表現力を高め、人と人との心のつながりや相互に理解し、尊重し合う心豊かな社会を形成するものです。

さらに、それ自体が固有の意義と価値を有するとともに、自己認識の基点となり、文化的な伝統を尊重する心を育てるものでもあります。

市民と地域が自らの手で進める伝統文化の伝承、文化活動を支援していきます。

本市に受け継がれた埋蔵文化財については、開発行為に伴う発掘調査を事前に行うことにより、記録として保存され、市民共有の遺産となります。文化遺産については、市民が広くその価値を認識できるよう、史跡見学会、各種講座、体験学習など活動機会の充実に努めます。

<H26年度事業一覧>

文化課	<ul style="list-style-type: none"> ○芸術文化事業 ○グリムの森等管理委託事業 ○文化財保護事業 ○デジタルミュージアム運営事業 ○下野薬師寺跡・下野国分寺跡保存事業 ○下野国分尼寺跡保存整備事業 ○下野薬師寺跡整備事業 ○甲塚古墳保存整備事業 ○下野国分寺跡保存整備完成記念事業 ○下野薬師寺歴史館管理運営事業 ○下野市テーマ館管理運営事業 ○文化財展示収蔵施設整備事業
-----	---



児童表彰



下野国分寺跡保存整備完成記念事業（薪能）



人権教育講演会



下野子ども力発動プロジェクト（清掃活動）

6. 評価シート総括表(H26年度事業)

課名	事業名	事業費(千円)	ページ
教育総務課	児童表彰事業	850	21
	学校適正配置推進事業	141	21
	小中学校整備改修事業	658,706	22
学校教育課	下野子ども力発動プロジェクト事業	500	24
	児童生徒英語教育推進事業	18,981	24
	エネルギー教育推進事業	1,112	25
スポーツ振興課	スポーツ振興事業	12,551	28
	大松山運動公園拡張整備事業	51,608	29
	体育施設改修事業	79,879	29
生涯学習文化課 (生涯学習課)	市民情報化推進事業	275	32
	人権教育事業	511	32
	公民館管理運営事業	53,345	33
生涯学習文化課 (文化課)	下野国分寺跡保存整備完成記念事業	12,906	35
	甲塚古墳保存整備事業	1,076	35
	文化財保護事業	10,477	36

7. 外部評価委員会の開催

上記の事業について外部評価委員会を開催(平成27年6月26日・7月3日)

- 外部評価委員会への全体説明と点検評価
- 外部評価委員による協議・まとめ

8. 評価シート個別表(次のページより)

平成27年度 教育委員会の点検・評価シート(平成26年度事業)

教育総務課

(1) 児童表彰事業 (事業費:850千円)

基本施策	次代を担う人材の育成
基本方針	未来を拓く子ども達を育む、より良い教育環境の実現
重点目標	教育の振興と教育環境の充実
事業内容	市内小学校児童の優れたところを見出し、自信と誇りを持たせることを目的に、卒業までに1人1回の表彰(近年は6学年に固定化)を行い、メダルと表彰状を授与する。
実施状況	<p>下野市児童表彰条例に基づき、学校長名で各児童の賞を選考し、被表彰候補者児童を教育委員会に推薦する。推薦書には推薦理由(担任作成)を付し、シールとして作成したものを、メダルケースに貼付し、児童自身が授与された賞の意味を自覚できるようにする。</p> <p>児童表彰式典において、市長自ら児童一人ひとりにメダルをかけ握手を交わし、教育長より表彰状を手渡す。</p> <p>平成26年度の実績としては、8日間で605名の児童に対し表彰を行った。</p>
評価及び方向性	<p>平成25年度の児童表彰を終えた段階で、各校の教頭と意見交換会を実施し、学校が出来ること、行政が出来ることについて協議を行った。その後、課内で検討し、教師の多忙感を緩和するため、推薦理由シールの貼付作業については教育総務課で行うことにした。</p> <p>また、地域をあげて児童を祝福するため、式典には保護者はもとより、学校評議員や民生委員・児童委員、スクールガード等に案内通知の送付するよう学校に依頼し、来賓として参加をいただいた。(平成26年度は保護者の出席223名、来賓の出席96名)</p> <p>全国的にも先進的な取り組みであり、下野市の魅力の一つでもある当該事業をPRするため、新聞やテレビ等のメディアを活用することで、地域住民の一層の参加を促していきたい。</p>

(2) 学校適正配置推進事業 (事業費:141千円)

基本施策	次代を担う人材の育成
基本方針	未来を拓く子ども達を育む、より良い教育環境の実現
重点目標	教育の振興と教育環境の充実
事業内容	平成25年11月策定の「下野市学校適正配置基本計画」に基づき、望ましい学校規模と安全の実現に向けての取り組みを中長期的な観点から実施し、その効果等について検証しながら地元の意向等を反映させ、児童生徒のより良い教育環境の充実を図っていく。
実施状況	<p>計画初年は小規模特認校の整備を中心に、指定校(細谷小・国分寺西小)の校長と密に連絡調整を図りながら、研修会・説明会・広報・募集等について、それぞれの立場から実施した。</p> <p>研修会については、小規模特認校のPTA等を中心に、先進地である栃木市立大宮南小学校を視察し、今後の取り組みの参考とすべく、保護者たちの動機づけを行った。</p> <p>対象校の校長には、未就学児童保護者への説明会(近隣幼稚園・保育園)に出席いただき、小規模特認校のPRを行った。(同時に各校の募集チラシやポスターを作成し配布)</p> <p>制度の周知については、「広報しもつけ」の7月号に細谷小の取り組みを、8月号に国分寺西小を掲載し、併せて市ホームページや学校情報ネットワークにおいてもPRを図った。</p>

評価及び方向性	<p>平成26年度の小規模特認校制度の利用者は、細谷小が3名、国分寺西小が1名、計4名の実績であった。昨年度の1名と比べると、多少の取組み効果があったと考えられる。今後とも継続的に取り組み、児童数の推移を見守りながら、その効果について検証していく。また、国分寺西小においては平成28年度に新生1名(又はゼロ)という憂慮すべき転換時期を迎えるため、懇談会等を開催し地元の意向を伺い、今後の方向性について再度確認したい。</p>
---------	--

(3)小中学校整備改修事業 (事業費:658,706千円)

基本施策	次世代を担う人材の育成
基本方針	未来を拓く子ども達を育むより良い教育環境の実現
重点目標	学校施設の整備
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強工事 学校施設は、児童生徒が1日の大半を過ごす施設であるとともに、非常災害時には地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、学校施設の耐震化の確保を合併当初より重要施策として位置づけし、計画的に取り組む。 ・大規模改修工事 児童・生徒の安全を確保し、快適な学校生活を送ることができるよう、老朽化した学校施設(校舎・屋内運動場等)の整備・改修を計画的に進め、長寿命化に取り組む。
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・細谷小学校の屋内運動場については、耐震診断(H23)の結果、耐震性が確保されておらず、老朽化も著しいため、鉄骨材の効果的な配置による補強を実施するとともに、屋上・外壁の防水性の改善、窓の強化ガラス化、トイレの全面改修により、学習環境の改善に努めた。 ・国分寺中学校管理教室棟については、過年度(H17)実施の耐震補強工事によって耐震性は確保されているものの老朽化が著しいため、大規模改修工事(補助事業)によって校舎屋上・外壁の防水性の改善をはじめ、給水、電気、防火施設の設備更新、廊下の壁、天井材等の改修、家具に入替を実施し、学習環境の改善に努めた。 ・古山小学校の給食調理室については、老朽化により衛生基準にも適合しておらず、狭隘でもあるため、補助事業を活用した改修工事の実施(ドライ方式への変更)により、衛生面の改善による児童の食の安全を図った。
評価及び方向性	<p>細谷小の屋内運動場の整備によって、学校施設全ての耐震化が完了したものの、多くの施設は老朽化していることから、今後も計画的に整備を進める必要がある。</p> <p>そのためにも、現在の整備計画の見直しを図り、補助事業等を活用しながらトータルコストの抑制に努め、安全の確保と機能性の向上を目指し取り組んで行く。</p>

(1)児童表彰事業

- 小学校6年生の時期に学校が児童一人ひとりの良いところを見つけ、来賓参加の下で厳粛に表彰することは、その後の学校生活における自尊感情の育成に資する有意義な取り組みであり、高く評価したい。
- 教師が児童をよく観察することにより、子ども一人ひとりの良さを見つける。これはより深い児童理解にもつながり、より教育効果は高まると思う。
- 教育委員会で指示提案することは教師一人ひとりを多忙にするが、推薦理由シールの貼付作業を教育総務課が行うことで、教師の多忙感を少しでも和らげようとしていることに市教委の配慮が伺える。
- ☆ このような事業を行っていることを、メディアを通じて広く地域住民に知っていただく必要がある。
- ☆ 中学生になってから表彰の意味を再認識する機会を設けることで、小学校での表彰が更に意味のあるものになるのではないかと思う。

(2)学校適正配置推進事業

- 「下野市学校適正配置基本計画」の実施初年度に当たり、小規模特認校の校長、PTA、地元住民らと密接に連携を図っていることを評価したい。今後、小規模特認校の効果を正確に検証されるよう期待したい。
- 平成26年度に細谷小学校が3名、国分寺西小学校が1名増えたことは評価したい。これは幼稚園や保育園に出向いて説明をしたり、広報を行った成果である。
- ☆ 文部科学省の学校の適正規模、適正配置等に関する手引きが教育委員会に通知されたが、それもすっかり「下野市学校適正配置基本計画」に反映し、事業を進めてもらいたい。
- ☆ 小規模校の特色を明確に打ち出した経営が求められる。地域の方々と話し合い、小規模校ならではの特色を出していただきたい。
- ☆ 小規模校の利用者は平成26年度が4名あったが、ゼロになった場合の対策も必要になる。その場合、市教委は地域の意向を聞き、統廃合の準備も進める必要がある。
- 広報宣伝し人数が増えたことは、努力した結果であると考えられるが、人数が増えなくても学校が存続している限り、引き続きPR等を実施していただきたい。

(3)小中学校整備改修事業

- 限られた予算を効率的に使い、市内全ての学校の耐震化を早期に完了されたことを高く評価したい。今後も引き続き老朽校舎の整備改修を着実に進められるよう期待したい。
- 耐震補強工事は文科省の調査でも全国的に60～70%程度であるにもかかわらず、市内小中学校(16校)の耐震化が行われたことは高く評価できる。
- 耐震補強工事・大規模改修工事の実施にあたり、補助事業を活用し計画的に実施していることを評価する。
- 古山小学校の給食室の改修は思い切った改修がなされ、子どもたちの健康を守る上からも評価できる。
- 学校は子ども達にとって安全な場でなければならない。計画的に大規模改修を行い、学習環境を整備していくようとする取り組みは、コストの抑制にもなる。
- 学校において太陽光発電を導入(6校)し、LED化も順次行っていることは評価できる。

学校教育課

(1) 下野子ども力発動プロジェクト事業 (事業費:500千円)

基本施策	次代を担う人材の育成
基本方針	知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成
重点目標	学校教育の充実
事業内容	子どもたちが主体的に協議・交流し、子どもたち自身の手で、子どもたちのためになる運動を展開することにより、主体的に関わり、発信し、行動できる子や「いじめをしない・させない・見逃さない」など、正しい判断のできる子を育てる。
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒交流会を通して、今年度の活動内容を考えたり、意見交換をしたりした。 第1回(6/9) (参加生徒数21名、参加教員数4名、学校教育課3名) 第2回(11/22)(参加生徒数20名、参加教員数4名、学校教育課2名) ・市総合計画策定に係る子ども未来プロジェクトのワークショップ、計3回(参加生徒数のべ45名、参加教員数12名、学校教育課1名)【総合政策課主催事業】 ・児童生徒交流会として、各中学校区であいさつ運動、奉仕作業、小中学校交流を実施した。(児童生徒交流会計6回、あいさつ運動全中学校区、小中音楽交流3回、奉仕作業3回) ・市民会議との懇談に参加し、青少年育成市民会議の人たちを各地域について意見交換をした。(参加生徒数18名、参加教員数4名、市民会議参加者12名、学校教育課1名) ・活動の様子を表したポスターや横断幕を作製して地域への周知を図った。 ポスターを各小中学校へ6枚。各公民館等へ1枚配布した。 横断幕を各小中学校へ1枚配布した。 ・「教育の集い」において、4中学校が活動報告をして、市民に向けて「支え合い、わかり合い、心の輪を広げよう」の運動を働きかけた。(参加生徒数21名、参加教員5名)
評価及び方向性	<p>遊歩道の清掃、あいさつ運動、合唱交流(音楽交流)等、小中学校の交流を積極的に推進することができた。また、新4国道の清掃を計画・実施するなど自分達の手で何が出来るか地域へ働きかけをすることができた。</p> <p>今後、小中交流の推進を図ると共に交流方法や交流内容について、検証し子どもたちにとってさらに効果的な事業を展開していく。</p>

(2) 児童生徒英語教育推進事業 (事業費:18,981千円)

基本施策	次代を担う人材の育成
基本方針	知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成
重点目標	学校教育の充実
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市直接雇用ALT6名による小学1,2年の英語活動、3~6年の外国語活動及び中学校英語の授業 ・ALTによる小学校教員への学校訪問研修(12小学校 年1回) ・外国語活動授業研究会(年5回実施) ・SEF(サマー・イングリッシュ・ファン)の実施(3地区で1日ごとに3日開催。小学生希望者対象) ・SEL(サマー・イングリッシュ・レッスン)の開催(2日間開催。教職員希望者対象)

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTのチームティーチングによる小学校、中学校での授業が実施されている。昨年度実施した教職員の英語に関するアンケートでは、児童は英語の時間を楽しみにしており、児童の変容について教職員は、児童がよりコミュニケーションをとることができるようになったと感じている。 ・教員の指導力向上のため、ALTが全小学校に出向き研修会を実施。平成25年度はALTのみの実施であったが、指導主事が同行し、指導助言を行った。 ・教員の英語力の向上のため、SELを開催した。H25年度は、「授業で使える英会話」という内容で実施(1日)し、参加者3名であった。平成26年度からは、英語への苦手意識を克服できるような研修内容で実施(2日)し、延8名の参加があった。 ・外国語活動授業研究会では、平成25年度に、ALTの指導力向上を図ることを目的に授業を公開し、研修を行った。平成26年度からは、市内教職員の参加も募り、授業研究会を実施し、5回の開催でのべ24人の参加があった。 ・ALTと触れあいながら、英語に親しむことを目的として、児童対象のSEFを平成24年度から実施。希望者多数のため、平成25年度からは受け入れ人数を拡大して1日2回の開催とし、3日間で計6回実施した。平成25年度は294名、平成26年度は301名の申し込みがあった。経験豊かなALTのアイデアあふれる内容で、リピーターも多い。
評価及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTの活用のメリットとして、ネイティブの発音を児童生徒に聞かせることができること、チームティーチングの形態で授業が行われることで、コミュニケーションのモデルを見せることができることがあげられる。 ・今後、小学校の教科化、中学校におけるよりコミュニケーションを重視した授業への取り組みを考え、教職員の指導力向上を図るために、各種研修会を計画的に実施していきたい。 ・現在のALT6名では、小学校全学年の英語・外国語活動への授業時数に対応できていないため、ALTを増員することで、小学校の英語・外国語活動の全時間に対応していきたい。また、各中学校には専属で1名を配置し、今よりも多く授業に関われる体制を作りたい。

(3) エネルギー教育推進事業 (事業費: 1,112千円)

基本施策	次代を担う人材の育成
基本方針	知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成
重点目標	学校教育の充実
事業内容	<p>文部科学省で所管する「エネルギー教育推進事業補助金(補助率10/10)の交付を受け、小・中学校の理科や社会科等の教科及び「総合的な学習の時間」に行われる原子力・エネルギーに関する学習を支援するための教材を整備し、エネルギー教育を推進している。平成19年度から6回の採択を受け、12校で整備が行われた。</p>
実施状況	<p>平成26年度整備校</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆国分寺小学校 <ul style="list-style-type: none"> ①風力・太陽光発電システム ②デジタル放射線測定器 ◆薬師寺小学校 <ul style="list-style-type: none"> ①デジタル放射線測定器 ②火力・水力発電実験器 ③屋内風力発電キット ④ソーラー式ポータブル発電機 ⑤光電池 <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーや放射線に関する教材・教具を多く使用した実験・観察を行う機会が増え、児童がより意欲的に学習に取り組むようになった。 ・実際に光電池や風力発電装置に触れたことで、クリーンエネルギーを身近なものにとらえることができ、将来のエネルギー問題について関心を高め、また考えを深めることができた。購入した放射線測定器で身の回りの放射線量を測定することにより、原子力や放射線、さらに環境問題等への関心も高まり、正しい知識を身につけることができた。 ・理科の実験時には、各グループでの実験等に対応できる数量を購入することができていることで、より具体的な活動のある授業展開ができており、有効活用されている。 ・エネルギー教育を通して、学校生活や家庭で節電を心掛けるなどエコロジーや新しいエネルギーに対する理解の深化と実践力の向上が見られた。

評価及び方向性	<p>補助金を利用した本事業において購入できた備品等は、学校予算での購入の難しいものが多く、購入できたものを使っての有効な授業が展開できており、児童が日常的に太陽光や風力などのエネルギーに関する興味・関心を高めるのに役立っている。</p> <p>今後とも補助金の積極的な申請により本事業を推進し、市内小中学校におけるエネルギー教育の推進に役立てていきたい。平成27年度に各校で取り組む「エコプロジェクト事業」に向けてのよい意識づけとなっている。</p> <p>補助金をまだ受けられていない小学校4校については、今後、補助金を計画的に申請し、エネルギー教育に係る備品等を整備していきたい。</p>
---------	---

学校教育課の事業に対する外部評価委員の意見

☆ 今後検討を要する事項

(1) 下野子ども力発動プロジェクト事業	
○	各校の代表生徒が参加して行われた「生徒交流会」や「子ども未来プロジェクト」は、極めて有意義な教育活動として高く評価したい。これらの活動による学習の成果を各校の代表生徒が各校に持ち帰り、校内の活動に結び付けられるよう、指導の一層の充実を期待したい。
○	児童生徒交流会は、小学生と中学生と一緒に活動することで中学生にとってはリーダーシップが育ち、小学生は中学生を身近な存在としてとらえる事ができ、よい目標・見本となる。息の長い事業となるよう期待する。
☆	子ども達が主体的に協議し、自分達の手で自分達のためになる運動を展開することは、子どもたちの自立性・自主性の涵養に役立ち、高く評価したい。生徒会を通して全校生徒に浸透できるよう教師の支援も期待したい。
○	青少年市民会議との懇談会を実施し、各地域について意見交換を行ったことや、地域に対する周知を図るためにポスターや横断幕等を作成したことは評価できる。
☆	南河内中学校の道路清掃活動は交通量の多い時間はさけて実施しているようだが、地域の老人会や自治会にも協力を要請し、地域と一体となった活動へ発展させるとより効果が期待できる。
(2) 児童生徒英語教育推進事業	
○	小学生に英語によるコミュニケーションの楽しさを教え、中学校での英語嫌いを生まないようにする上で、小学校へのALTの配置の意義は大きい。追加の配置に期待したい。
○	SEFの実施について、多くの参加者があったことを評価する。グローバル化を見据えた英語教育を実践していくうえでSEFは欠かせないことである。
☆	ネイティブの英語に数多く触れることで、子どもたちは自然に英語を身に着けることができるので、予算の問題もあると思うが、ALTの学校訪問の回数や、ALTの人数を増やせるようお願いしたい。
☆	児童対象のSEFは参加者がとても多いが、教員対象のSELは参加者がとても少ない。夏休みの自主研修なので仕方ない部分はあるが、講座の内容などを工夫して多くの参加者を募れるように改善してほしい。教員の英語力を高めることが、子どもたちの英語の力を伸ばすことにつながると思う。
☆	英語嫌いを少なくするため、他国の人との触れ合いを多くすることは大切である。市内に居住する外国の方との交流なども工夫してほしい。
☆	市内には外国での経験を持つシニア世代も多いと思う。これらの資源を小学校等に活用していくことも工夫できればよい。

(3)エネルギー教育推進事業

- 国の補助金を有効に活用して、エネルギー教育に役立つ教具を各校に積極的に配置していることを高く評価したい。
- ☆ 教育予算が少ない中、補助事業を探し、この事業が推進できたことは評価できる。一方で、小学校12校中4校がまだ授業を受けられない状況は、同じ小学生でありながら不平等である。補助金を計画的に申請するとともに、予算要求または備品の使い方の工夫についても検討してほしい。
- エネルギー教育が浸透してくれば、日常生活にもエネルギーに対する考え方が変わってくると思う。原発事故当時は節電の機運が高まったが、最近はその意識が薄れつつある。
- ☆ 文部科学省の補助金だけを活用していると数年かかるようである。補助金の都合で、まだ授業を受けていない学校4校の子どもたちのために、補正予算を組むなどの工夫が必要である。
- ☆ エネルギー教育の授業や活動は時期をずらすなどして、市内の子ども達が同質の教育を受けられるような工夫が必要である。小学校での体験が中学校での体験差にならないように配慮できればと思う。

スポーツ振興課

(1)スポーツ振興事業 (事業費:12,551千円)

基本施策	生涯にわたる学びの機会の充実
基本方針	豊かなスポーツライフの実現
重点目標	市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の推進
事業内容	市民“ひとり1スポーツ”の推進を目指し、多様化する市民のスポーツニーズに応え、子どもたちから高齢者・障がい者までのすべての市民が、それぞれの体力や目的に応じてスポーツに親しみ活動できる環境づくりを推進し、市民の健康・体力増進及び地域コミュニティーの醸成を図り、明るく健康な市民生活の向上及び活力あるまちづくりに寄与する。
実施状況	<p>(1)スポーツ振興事業</p> <p>【指導者研修】指導者の技術向上を図るため、キンボールスポーツ指導者講習会及びティーボール審判講習会を開催した。また、新規事業として、障がい者指導者研修会を開催した。</p> <p>【スポーツ教室】幼児から高齢者を対象として計7事業を実施した。特に、重点推進スポーツとして、キンボールスポーツの推進を図るため、毎月1回講習会を実施した。</p> <p>【スポーツ大会】ミニトライアスロン大会及び下野オープンキンボールスポーツ大会を開催した。また、新規事業として下野市障がい者スポーツ交流会を開催した。</p> <p>【補助金等交付】生涯スポーツ及び少年スポーツの推進を図るため、体育協会及びスポーツ少年団に対して補助金を交付した。また、競技スポーツの振興を図るため、全国大会等出場者に対して助成金を交付した。</p> <p>【スポーツ交流】新規事業として、他地域間とのスポーツ交流を通して、子どもたちの豊かで健全な育成に寄与するため、第1回宮城県亘理町のスポーツ交流事業を開催した。</p> <p>(2)市民体育祭開催事業</p> <p>【種目別大会】ティーボール大会、キンボールスポーツ大会</p> <p>【運動会等】石橋地区運動会、国分寺地区運動会、南河内地区スポーツフェスティバル</p> <p>(3)総合型地域スポーツクラブ活動支援事業</p> <p>地域スポーツの振興を図るため、グリムの里スポーツクラブ、NPO法人夢くらぶ国分寺、NPO法人元気ワイワイ南河内に対して活動費補助金を交付した。</p>
評価及び方向性	<p>(1)スポーツ教室については、総合型地域スポーツクラブの資源を活用し、更に魅力ある教室とするため、平成27年度から各クラブへ事業委託を行い実施する。</p> <p>また、重点推進スポーツであるキンボールスポーツの普及促進については、平成26年度に全小学校へキンボールスポーツ用具の貸与を行った。今後、小学生チームによる大会開催を目標に更に普及促進を図っていく。</p> <p>(2)市民体育祭については、地域コミュニティー醸成に大きく寄与する大会であり、多くの自治会の参加を得て実施しているが、より参加しやすく、また、自治会役員の負担軽減が図られるよう、プログラム等の見直しを行いながら実施をしていく。</p> <p>(3)各総合型地域スポーツクラブは、地域スポーツの推進役として、3クラブの合計で64事業を開催しており、生涯スポーツの推進に大きな役割を担っている。しかし、重要な運営資金であるtoto助成事業が終了することもあり、適切な支援のあり方について検討を行いながら、安定した運営が継続的に図られるよう活動支援を行っていく。</p>

(2)大松山運動公園拡張整備事業 (事業費:51,608千円)

基本施策	生涯にわたる学びの機会の充実
基本方針	生涯にわたる学びの機会の充実
重点目標	市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の推進
事業内容	<p>市民誰もがスポーツを親しみ、健康づくりができる施設や公式大会が行える本格的な陸上競技場を備えた運動公園が未整備であることから、以下の3つを兼ね備えた公園の整備を行う。</p> <p>(1)多目的に利用する陸上競技場 (2)公園緑地機能を備えた市民に親しまれる公園 (3)防災機能を持つ公園</p>
実施状況	<p>□基本設計の策定 30,708千円 パブリックコメントや関係団体との調整を実施して策定した。 区域面積:14.2ha 事業費2,634,000千円 施設概要:陸上競技場(屋根付き観覧席、サッカー競技場)、多目的グラウンド、園路広場、遊戯施設、休養施設、管理施設</p> <p>□用地測量の実施 11,340千円 測量面積:約61,673㎡ 筆数:78筆 地権者:29名</p> <p>□物件調査の実施 5,130千円 家屋:6件 農業施設、山林</p>
評価及び方向性	<p>市民、議会の意見をいただきながら基本設計まで順調に策定することができました。</p> <p>今後は、平成32年(2020年)に開催されます東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致や平成34年(2022年)に開催される第77回国民体育大会の会場としての利活用も視野に入れながら整備を進めていきます。</p> <p>なお、平成27年度は、用地の取得と実施設計の策定に着手します。</p>

(3)体育施設改修事業 (事業費:79,879千円)

基本施策	生涯にわたる学びの機会の充実
基本方針	豊かなスポーツライフの実現
重点目標	市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の推進
事業内容	<p>生涯スポーツは青少年の健全育成、高齢者の健康維持、家族や地域でのコミュニケーションの場や地域の活性化を担っている。</p> <p>市民の多様なニーズやサービスに対応するため老朽化した体育施設の改修を実施し、施設の質や機能を向上させるとともに、市民が安心して利用できる体育施設とするための耐震補強を実施する。</p>
実施状況	<p>(1)体育施設耐震対策事業 9,882,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育施設耐震診断補強計画業務委託 ・ 石橋体育センター耐震補強・改修工事設計業務委託 外1委託 <p>(2)体育館改修事業 6,995,160円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石橋体育センター消防設備修繕工事 外4工事 ・ ねんりんピック開催関連工事 <p>石橋体育センタートイレ小便器改修工事、石橋体育センター障害者用トイレ改修工事</p>

実施状況	<p>(3)スポーツ交流館改修事業 3,353,400円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねんりんピック開催関連工事 スポーツ交流館壁等改修工事、スポーツ交流館障害者用トイレ改修工事 <p>(4)運動場改修事業 31,287,600円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南河内東部運動広場駐車場整備工事 外7工事 <p>(5)テニスコート改修事業 28,360,800円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国分寺運動公園テニスコート改修工事(分割1号) 外1
評価及び方向性	<p>実施した改修・修繕工事については、安全確保に配慮しながら工期内に完了した。</p> <p>また、早期発注に心がけるとともに、補正予算措置による修繕工事も速やかに実施し、市民の多様なニーズやサービスに対応することができた。</p> <p>耐震対策については、耐震診断補強計画業務委託を実施し、石橋体育センター耐震補強・改修工事設計を実施し、順次、体育施設の耐震補強・改修工事を進めていく予定である。</p> <p>その外、ねんりんピック開催に向けた改修事業も早期に実施し、ねんりんピック開催を迎えることができた。</p>

スポーツ振興課の事業に対する外部評価委員の意見

☆ 今後検討を要する事項

(1)スポーツ振興事業

- 新規事業として「障がい者指導者研修会」と「下野市障がい者スポーツ交流会」を開催したことを高く評価したい。「市民“市民ひとり1スポーツ”」の理念の実現のために、障がい者がスポーツに取り組む機会の充実が極めて意義深い。
- 幼児から高齢者まで各世代に向けたスポーツ教室を開催し、環境づくりを行ったことで参加者に選択の幅が広がり、参加の意欲が向上したことを評価する。
- 総合型地域スポーツクラブ事業は、専門性を活用し様々なスポーツと触れ合う機会ができる意味で良い取り組みである。
- 総合型地域スポーツクラブについて、自分たちのクラブは選ばれたクラブであるという意識から、予約やキャンセル等、我儘な利用になってしまうことがあるので、注意が必要である。
- ☆ 総合型地域スポーツクラブは生涯スポーツの推進に大きな役割を担っていることから、運営資金(toto助成金)が終了した後も、継続的な支援ができるよう配慮をお願いしたい。
- ☆ 国分寺地区と石橋地区は体育祭を実施しているが、参加自治会や参加者がどのように推移しているのかわからないため、把握に努めていただきたい。まったく参加していない自治会もあると聞いている。
- ☆ アンケートによれば、全く運動をしていない方も多い。病気等の理由もあるだろうが、多くの方が参加できるように広報の仕方について工夫が必要だと思われる。
- 市民体育祭については、自治会役員の負担軽減を図るためアンケートを実施するなど、「プログラム」の見直しを図っていることに対し評価する。

(2)大松山運動公園拡張整備事業

- 東京オリンピック・パラリンピックと第77回国体を前に、着実に拡張整備が進められていることを高く評価したい。市民スポーツの振興にとって極めて意義深い取り組みである。今後の順調な進展に期待したい。
- 公園緑地機能の一部としてビオトープの建設が計画されている。ビオトープ建設に市民ボランティアの協力を得るとのことであり、その意義を高く評価したい。
- ビオトープは外来種の植物や魚が繁殖しないように留意してほしい。(烏ヶ森の調整池には外来種の魚が増えている。)
- パブリックコメントや関係団体など、幅広く意見を聞きながら進めてきた事業であるので、市民の目線に立った施設の完成を期待している。
- 陸上競技場の機能だけでなく、公園機能や防災機能を持った総合施設ができることは喜ばしいことである。市民が身近に利用できる施設であってほしい。
- ☆ 陸上競技場は、小中学校の記録会や市民体育祭などに利用されると思うが、年間利用は少ないと考えられる。栃木SCなど、プロの練習を見せることにより、子どもの意欲を喚起できるため、さらにサッカー教室等、利用の幅を広げられる工夫が必要である。
- ☆ 大松山運動公園拡張整備事業の基本設計ができ、ホームページ等でお知らせをしているが、IT環境の整っていない方は見るできない。高齢者等に配慮した広報のあり方について検討していただきたい。

(3)体育施設改修事業

- 限られた予算の中で、老朽化した体育施設の改修に努めていることを高く評価したい。今後も、利用者の安全確保を最優先課題として着実に施設の改修を進めていただきたい。
- 安全を確保するため、補正予算を組むなど速やかに対応したことを評価する。今後も老朽化施設については注意深く見守りながら継続した対応をお願いしたい。
- 耐震対策について、下野市は災害の少ない地でありながら体育施設の安全に配慮した工事が進められている。市民の緊急避難場所にもなるため、計画的に進められたことを評価したい。
- 今年度整備を行った南河内東部運動公園の駐車場や、国分寺運動公園のテニスコートはとてもきれいに整備されており、以前より利用しやすくなったことを評価する。

生涯学習課

(1) 市民情報化推進事業 (事業費:275千円)

基本施策	生涯にわたる学びの機会の充実
基本方針	市民一人ひとりが生涯を通じて学び、その成果が活かされるまちづくり
重点目標	市民と行政の協働による生涯学習の推進
事業内容	生涯学習情報センターにおいて、パソコン初心者を対象に、安心・安全にインターネットを利用するためのスキルを学ぶ「市民インターネット体験講座」を開催、ネット詐欺などインターネット利用のリスク管理も受講生に教える必要があるため、専門講師・専門業者に委託により実施した。 2時間を4回で1クールを3回実施。 また、「シニア向けスマートフォン体験講座」を2回開催、携帯電話を利用した災害時の安否確認方法を学習し、災害時に利用できるようにしたり、高機能携帯への抵抗感の低減や、振り込め詐欺被害防止のための意識向上を図った。
実施状況	市民インターネット体験講座(定員各コース20名) ・金曜日午前コース20名 ・金曜日夜間コース20名 ・土曜日午前コース20名 シニア向けスマートフォン体験講座 参加者44名(ドコモ20名、KDDI 24名) ※シニア向けスマートフォン体験講座は、事業者の協力により費用は掛からなかった。
評価及び方向性	市民インターネット体験講座は、終了後、受講者からは引き続きインターネットに挑戦していきたいという声もきかれ、講座の成果があったと考える。また、広報紙に加え、今年度はチラシの自治会班回覧による周知を行い募集した。その結果、3コースとも定員を超える申し込みがあり、周知効果が非常に高かった。次年度も同様の講座を企画し、デジタルデバインド(情報格差)の解消に取り組む。 シニア向けスマートフォン体験講座はNTTドコモに加え、今年度はKDDIにも依頼し、2回開催した。アンケート結果からも好評であり、機材の台数の関係で1回に受講できる人数が限られているため、今後は回数をさらに増やしていくことを検討したい。

(2) 人権教育事業 (事業費:316千円)

基本施策	生涯にわたる学びの機会の充実
基本方針	市民一人ひとりが生涯を通じて学び、その成果が活かされるまちづくり
重点目標	市民と行政の協働による生涯学習の推進
事業内容	人権教育講演会及び市民人権講座の開催
実施状況	①人権教育講演会 日時:12月20日(土) 演題「ネットいじめ・犯罪から子どもをどう守るか」～インターネットと子どもの人権～ 講師 全国webカウンセリング協議会 安川 雅史 理事長 ②市民人権講座 テーマ:子どもを取り巻く人権問題 ・2月24日(火) 演題「子どもの貧困と地域の関わり」 講師 NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク 理事長 栗林 知絵子 氏 ・3月3日(火) 演題「児童虐待の現状と課題」 講師NPO法人だいじょうぶ 理事長 畠山 由美 氏 ・3月12日(木) 演題「いじめは子どもの心のSOS」 講師 NPO法人ジェントルハートプロジェクト 代表理事 小森 新一郎 氏 ・3月17日(火) 演題「子どもたちのインターネット利用の現状と対応方法」 講師 ピットクルー株式会社 山田 浩一 氏
評価及び方向性	今年度は、インターネットや子どもの虐待・貧困など近年社会問題となっている人権をテーマに事業を実施した。 今後も、市民に身近な人権問題を取り上げ、さらに人権に対する意識の高揚を目指したい。

(3) 公民館管理運営事業 (事業費:43,780千円)

基本施策	生涯にわたる学びの機会の充実
基本方針	市民一人ひとりが生涯を通じて学び、その成果が活かされるまちづくり
重点目標	市民と行政の協働による生涯学習の推進
事業内容	①各種公民館講座の開催 家庭教育、青少年教育、セカンドステージ支援、成人、高齢者講座の開催。 ②公民館自主サークルの支援 ③公民館まつりの開催
実施状況	①公民館講座は、4公民館を合わせて63講座286回を開催し、申込者は1,794人、延受講者は、6,163人となった。また年教育講座の「ハーモニークラブ(合唱)」では、市内6小学校からの応募があり「市民芸術文化祭グリムミュージックフェア」、「子どもなんでも発表会」にも課外活動として参加することができた。 ②自主サークルは、昨年と同数の158団体で推移している。 ③公民館まつりは、1月31日から2月21日の土日にかけて各4公民館で実施した。 ※国分寺 延1,400人、南河内 延800人、石橋 延1,150人、南河内東で 延500人
評価及び方向性	公民館講座にボランティア講師を活用し、趣味の講座では、関係サークルに協力を依頼し、市民の活力を利用した事業を進める。また、参加者の多少に関わらず毎年講座や教室の内容について見直しを行いマンネリ化の解消に努める。 また、自主サークルは、徐々に人数が減少し活動が停滞しているサークルが増えており、新たなサークル設立のための支援や加入促進が課題である。

生涯学習課の事業に対する外部評価委員の意見

☆ 今後検討を要する事項

(1) 市民情報化推進事業

- 「市民インターネット体験講座」と「シニア向けスマートフォン体験講座」は、いずれも市民のニーズに合った有意義な事業である。実施回数の増加など、今後の一層の充実に期待したい。
- 「市民インターネット体験講座」では、今後起こりうるであろう災害や特殊詐欺等の内容に絞って実施していることを評価する。
- ☆ 「市民インターネット講座」の実施については、事業費や専門講師、機材の問題もあるが、なるべく多くの受講者を受け入れて学ぶことができるよう、課題解決に向けて努力していただきたい。
- 講師として外部指導者を招き、質の高い事業が行われたことは評価できる。専門性のある内容は受講者にとっても魅力的である。また、回数を増やし、希望者の期待に応えようとする姿勢は評価できる。
- 「市民インターネット体験講座」の広報については、自治会回覧を活用して参加者を増やそうとした取り組みを評価する。広報だけの募集では忘れてしまうことがある。
- ☆ 講座を実施する場合は、パソコン所持の有無について調査をしていただくと、普及状況も分かり、今後の広報活動に役立つのではないかと。

(2)人権教育事業

- 「子どもの人権」など、毎年、統一したテーマで事業を展開している。このような工夫により、講演会や講座への参加者も多くなっている。市民の人権意識を啓発する上で重要な取り組みとして高く評価したい。
- ☆ 下野市PTA連絡協議会との共催ということであるが、市民人権講座が2月と3月に4回組まれている。学校では学期末なので授業参観や卒業式などPTAが集まる機会が多いため、保護者の負担にならないよう開催時期を考慮することも必要である。
- ☆ 教育の基本は家庭であるので、人権教育を定着させるために、幼・小・中学校等における保護者等に対し出前講座などを活用できるように検討していただきたい。

(3)公民館管理運営事業

- 公民館講座と自主サークルは、いずれも市民の生涯学習にとって重要な機会である。今後も一層の充実に向けて努力されるよう期待したい。
- 各種公民館講座は色々な世代に向けた、多種多様な講座が多く受講生には選択しやすい。
- ☆ 公民館利用者が固定化されつつある。利用者代表と公民館関係者等で、素案の段階から話し合い、魅力的な講座の開催を期待したい。
- ☆ 自主サークルの中には、参加者数の減少や活動の停滞などの問題を抱えたものもあるとのことである。公民館からの情報発信などを通じて、サークルの維持・発展を支えられるよう期待したい。
- ☆ 自主サークルの平均年齢は高齢化している現状があり、若い人(50歳代)の参加者を増やす工夫や支援が必要だと思われる。
- ☆ 現在自主団体として158団体が活動している状況であるが、徐々に人数が減少しているとの説明があった。今後とも高齢化社会を見据えた事業を展開し、加入促進を図っていただきたい。
- 公民館まつりは全体として昨年度よりも来館者数が増え、たいへん盛況であり関心の深さをうかがうことができる。
- ☆ 公民館まつりは作品の力作が多く、発表においても意気込みが感じられる。受講者はもとより、公民館利用者も楽しみにしており、自分の作品を見てもらいたいという願望が強く感じられる。これらの作品等を他の場で公開展示する工夫も必要だと思う。

文化課

(1) 下野国分寺跡保存整備完成記念事業 (事業費: 12,906千円)

基本施策	豊かに暮らす文化の振興
基本方針	国指定史跡地の公有化
重点目標	文化遺産の保存と活用
事業内容	国指定史跡下野国分寺跡の保存整備事業の完成を記念して、「しもつけ薪能」を開催した。夕暮れ時から始まる幽玄な演目に触れることにより、天平の歴史ロマンに思いを馳せ、史跡に親しみを持っていただくとともに、地域文化の振興に寄与することを目的に実施。また、「しもつけ薪能」をきっかけに、さらに能楽に親しんでいただくためのワークショップを開催した。
実施状況	<p>【しもつけ薪能】 実施日:平成26年5月6日、会場:下野国分寺跡特設能舞台 『しもつけ薪能』を実施するに当たり、前評判が高く、問合せも多くあった。前売券の発売当日、市内の公民館等8か所のチケット取扱所には、朝早くから並ぶ方も多く、開館時には長蛇の列ができ、あっという間に前売券(1,000席分)の全てが完売した。 完成したばかりの史跡公園に特設能舞台を設置して「しもつけ薪能」を実施した。雨上がりの晴天の中、記念式典を行い、夕暮れ時に『しもつけ薪能』を開演、狂言「舟渡聲」(シテ/野村万作)と火入れの儀、日没後は星空の下、能「石橋・連獅子」(シテ/山中一馬)による幽玄の世界を堪能し、日本の伝統文化“能楽”を楽しんでいただいた。参加者からは、薪能という厳かで幻想的な舞台を鑑賞できて感動したという感想が多かった。〔参加人員:1,194名〕 ★(さらに能楽に親しんでいただくための地域交流プログラム)講師 山中一馬師(能楽師)</p> <p>【能楽体験教室】 実施日:平成26年8月30日、会場:グリムの館 能楽のおはなしを聞いた後、能面体験や能舞台の歩き方、蜘蛛の糸を投げる体験を行い、最後に仕舞「土蜘蛛」を鑑賞した。参加者からは、普段なかなかできない貴重な体験ができ、とても楽しかったという感想を多くいただいた。〔参加人員:186名〕</p> <p>【能楽鑑賞講座】 実施日:平成26年10月12日、会場:石橋体育センター あらすじ・解説の講義を聞いた後、狂言「附子」(シテ/野村万作)と能「羽衣」(シテ/山中一馬)を鑑賞した。参加者からは、わかりやすい説明があったので能舞台を楽しんで鑑賞できた、狂言の滑稽さが十分に伝わってきた、という感想が多かった。〔参加人員:399名〕</p>
評価及び方向性	今回の記念事業「しもつけ薪能」を実施したことにより、話題性を呼び、国指定史跡下野国分寺跡を県内外からの多くの方に広く周知できた。また、この薪能やワークショップの実施により、これまで能楽に触れる機会があまりなかった方も、能舞台を鑑賞する良いきっかけとなり、日本の伝統文化である能楽への関心が高まった。

(2) 甲塚古墳保存整備事業 (事業費: 1,076千円)

基本施策	豊かに暮らす文化の振興
基本方針	文化遺産の保存と活用
重点目標	甲塚保存整備事業
事業内容	<p>16年度古墳の調査をおこなったところ、県内では過去に事例の無い数の埴輪などの遺物が出土した。出土した破片点数は約1万点にのぼり、整理・復元作業にはかなりの時間を要した。復元作業の結果、人物埴輪17体、馬形埴輪4体の中に2種類の機織形埴輪が含まれており、これらは全国初の事例であることが判明した。</p> <p>平成26年度の事業として、一般販売用報告書の増刷と啓発用のパンフレットの印刷業務を実施した。このほか、機織形埴輪のデジタル彩色復元を実施した。</p> <p>また、甲塚古墳保存整備委員会を開催し、国の重要文化財指定に向けた取り組みについて文化庁・県教育委員会及び整備委員会から指導・助言を受けた。</p>

実施状況	16年度発掘調査(5～7月)を実施(現地見学会参加者150名)。25年度まで、報告書作成業務・機織形埴輪(日本初出土)報道を県庁記者クラブで実施。報道の翌日から薬師寺歴史館・風土記の丘資料館で公開。約7,000人の見学者が来訪。26年度は前年度から継続して各種メディアの取材対応(海外報道1社、テレビ2社、ラジオ1社、雑誌5社、新聞30社)。
評価及び方向性	全国初の機織形埴輪の出土と多数の資料が復元できたことにより、話題性を呼び文化財としてだけでなく、シティセールスとして役割も果たした。 現在、文化庁主催の「発掘された日本列島2015」に出展している。 今後、重要文化財指定に向けた作業を継続し、国重要文化財指定の早期実現を目指す。

(3)文化財保護事業 (事業費:10,477千円)

基本施策	豊かに暮らす文化の振興
基本方針	文化遺産の保存と活用
重点目標	文化財保護事業
事業内容	<p>市内の国・県・市指定文化財105件の保護管理と、市内512件を対象とした埋蔵文化財包蔵地の発掘調査・整理事業・報告書作成を実施した。</p> <p>平成26年度新設の市指定文化財を対象とした修理及び管理に関する補助により、市内自治会が管理する仏像の修理を行った。</p> <p>県わがまち協働推進事業(H24から県費補助継続事業)により、市内の古墳の解説板設置とパンフレットの作成をおこなった。また、壬生町と共同で現在、当市の生産高が日本一である干瓢関連の生産道具の活用事業をおこなった。</p>
実施状況	<p>【市指定文化財保存管理事業】</p> <p>平成26年度の新設事業である。市文化財保護審議会の指導の下、制度整備を行い、これまで候補にあがっていた南河内地区仁良川自治会管理の木造薬師如来立像及び脇侍十二神将像(江戸時代中期)の修理を行った。</p> <p>【埋蔵文化財包蔵地の調査】</p> <p>民間開発による市内の埋蔵文化財包蔵地の開発事前調査を平成26年度は70件の対応をおこなった。工事立ち合い・試掘調査後、本格的な発掘調査に至る案件はなく、適切な対応が図られた。また、公共事業に伴う発掘調査は、以下のとおりである。①三王山公園新設に伴う調査 ② 仮称薬師寺コミュニティーセンター建設に伴う発掘調査③石橋病院移転に伴う旧石橋中学校敷地の発掘調査(①②③とも前年度から継続)</p> <p>【発掘調査に伴う整理・報告書作成業務】</p> <p>上記3現場出土遺物の整理作業を行った。特に②については、古墳時代～江戸時代までの400を超える遺構(竪穴住居跡、井戸跡など)とそこから出土した土器類の破片は3,000点を超える。これらの中から重要な資料を抽出し、図面を作成し報告書に記載する。</p> <p>【わがまち協働推進事業】</p> <p>古墳3基の解説看板と総合案内板の設置とパンフレットの発行をおこなった。また、干瓢生産道具を収集・分類・記録を実施。内容を簡便に記載したパンフレット5,000部を作成。夏休みなど「干瓢剥き体験講座」の開催の際、テキストとして使用する予定である。</p>
価及び方向性	<p>市指定文化財保存管理事業については、現在修復が必要な事例が数例上がっており、また、新設された制度についても市民の方にご理解いただき、文化財を所有している自治会等の団体から複数要望が上がっている。</p> <p>埋蔵文化財包蔵地の調査については、調査後報告書の発刊とその後の学校や社会教育等における活用までを考慮した計画が必要とされている。資料館等での一般公開や体験講座等での活用を順次計画していく。</p> <p>わがまち協働事業については、今後も継続して作業を進め、体系的にまとめる作業を進め、将来、国の有形登録文化財の指定を目指す。</p>

(1) 下野国分寺跡保存整備完成記念事業

- 「しもつけ薪能」は、下野国分寺跡保存整備の完成を記念するにふさわしい極めて有意義な行事であった。石橋高校出身の山中一馬氏の協力で行われたことも大変有意義であった。
- 「しもつけ薪能」は前評判が高く、5月の寒い時期にかかわらず、チケットの入手が難しいくらい盛況であった。完成記念という意気込みを感じさせる事業であった。
- 能楽への理解を深めるための「能楽体験教室」や「能楽鑑賞講座」を開催したことは、伝統芸能に触れる機会を市民に提供する意味で大変有意義な取り組みであった。
- ☆ 後日開かれた「能楽体験教室」や「能楽鑑賞教室」は、能楽についての分かり易い説明があり、たいへん好評であった。薪能の前に実施すればもっと楽しめたという意見があった。
- ☆ この事業は記念式典と併せた1回限りの事業であるが、今後とも下野市として継続していけないか検討していただきたい。

(2) 甲塚古墳保存整備事業

- 平成16年度の出土から平成25年度の報告書完成まで10年の努力が実り、甲塚古墳の埴輪が全国的に注目を集めるに至ったことを高く評価したい。国重要文化財指定に向けて一層の努力を期待したい。
- ☆ 大変貴重な機織型埴輪が出土し、今後それらの出土品の保存、管理、効果的な活用を図っていただきたい。
- 下野薬師寺跡史跡まつりでは、岩手県や神奈川県など他県からの見学者が多く見られ、下野市の知名度を上げた功績は大きく、今後も発信を続けてほしい。
- 甲塚で発掘された埴輪等が、「発掘された日本列島2015」として全国5カ所で展示されるとのことである。栃木県立博物館において9月19日から11月1日まで展示されるので、より一層市民への周知をお願いしたい。

(3) 文化財保護事業

- 壬生町教育委員会と共同でパンフレット「干瓢生産道具の移り変わり」を作成したことを高く評価したい。下野市の産業文化として干瓢産業を学習する上で大いに役立つ資料である。
- ☆ 本市や壬生町で名産となっている干瓢の生産が減少傾向にある中、今のうちに干瓢関連の生産機材の収集や保存、資料の作成が行われたことは評価したい。今後、資料館などに展示することも考えていただきたい。
- 市指定の文化財について、修理等についての補助金が新設されたことは、下野市の文化財に対する姿勢がうかがえる。金額の大小は問わず、市の歴史認識が高いという証明にもなる。
- 道路上に設置された史跡までの「案内板」は、目的地までの移動をスムーズにし、史跡内に設置された「解説看板」は、居ながらに史跡の理解を深める意味で評価できる。
- ☆ 下野市が歴史ある街であると誇れるよう、小中学校等において出前授業等が実施されることを期待する。

9. 外部評価委員会委員

◎委員長

氏 名	所 属 等
◎ 上 原 秀 一	学識経験者（宇都宮大学教育学部准教授）
五 月 女 洪	学識経験者（社会教育委員長）
佐 藤 茂 男	学識経験者（元小山市立中小学校長）
津 野 田 久 江	学識経験者（人権擁護委員）

10. 外部評価委員会委員長による評価のまとめ

この点検・評価は、下野市総合計画に位置づけられた主要施策のうち、教育委員会所管事業の内部評価を経た15項目（平成26年度事業）について行ったものであります。外部評価委員会では、これらの15事業についてのヒアリングを実施し、評価については会議終了後に各委員が文章をもって提出いたしました。

教育委員会事務局において、提出された評価の中から、評価する点や今後一層の改善が期待される点などを事業ごとに集約し、各課の「事業に対する外部評価委員の意見」として取りまとめを行いました。

施策 1 「次代を担う人材の育成」

「知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成」を基本方針とする評価対象3事業について、各委員から、次のような意見が出されました。「下野子ども力発動プロジェクト事業」については、児童生徒交流会によってリーダーシップが育つことや、子どもたちの自立性・自主性の涵養に役立つことなどを高く評価する意見が出されました。一方、地域の老人会や自治会にも協力を要請し、地域一体となった活動へ発展させるなどの改善を期待する意見が出されました。「児童生徒英語教育推進事業」については、ALTの配置やSEFの実施などを高く評価する意見が出されました。一方、ALTの加配や、SELへの教員の参加状況の改善を期待する意見が出されました。「エネルギー教育推進事業」については、国の補助金を有効に活用していることを高く評価する意見が出されました。一方、補助金をまだ受けられていない小学校4校について、早期の改善を期待する意見が出されました。

「未来を拓く子ども達を育む、より良い教育環境の実現」を基本方針とする評価対象3事業について、各委員から、次のような意見が出されました。「児童表彰事業」については、教師が子ども一人ひとりの良さを見つけることで、より深い児童理解につながることを高く評価する意見が出されました。一方、地域住民への広報や、中学生になってから表彰の意味を再認識する機会を設けることなどを期待する意見が出されました。「学校適正配置推進事業」については、小規模特認校の児童数が増えたことなどを高く評価する意見が出されました。一方、小規模特認校の効果の正確な検証や、小規模特認校の特色を明確に打ち出した学校経営などを期待する意見が出さ

れました。「小中学校整備改修事業」については、市内全ての学校の耐震化を早期に完了したことなどを高く評価する意見が出されました。

施策 2 「生涯にわたる学びの機会の充実」

「市民一人ひとりが生涯を通じて学び、その成果が活かされるまちづくり」を基本方針とする評価対象3事業について、各委員から、次のような意見が出されました。

「市民情報化推進事業」については、「市民インターネット体験講座」の内容が市民のニーズに合った質の高いものであることなどを高く評価する意見が出されました。一方、講座の回数を増やし多くの受講者を受け入れられるようにすることなどを期待する意見が出されました。「人権教育事業」については、市民の人権意識を啓発する上で重要な取り組みとして高く評価する意見が出されました。一方、学校の保護者を対象にした出前講座の実施や、保護者の負担にならないような開催時期の考慮を期待する意見が出されました。「公民館管理運営事業」については、公民館講座の内容が多種多様であることや、公民館まつりの来館者数が増えていることなどを高く評価する意見が出されました。一方、高齢化して参加者数が減っている自主サークルを支える取り組みなどを期待する意見が出されました。

「豊かなスポーツライフの実現」を基本方針とする評価対象3事業について、各委員から、次のような意見が出されました。「スポーツ振興事業」については、障がい者がスポーツに取り組む機会が充実していることや、各世代に向けたスポーツ教室が開催されていることなどを高く評価する意見が出されました。一方、体育祭について参加自治会や参加者の推移を把握して改善に活かすことや、事業の広報を工夫することなどを期待する意見が出されました。「大松山運動公園拡張整備事業」については、幅広く意見を聞きながら事業を進めてきたことや、公園機能・防災機能を持たせたことなどを高く評価する意見が出されました。一方、ビオトープにおける外来種の繁殖を予防することや、高齢者等に配慮した広報の在り方を検討することなどを期待する意見が出されました。「体育施設改修事業」については、安全を確保するため、補正予算を組むなど速やかに対応したことなどを高く評価する意見が出されました。

施策 3 「豊かに暮らす文化の振興」

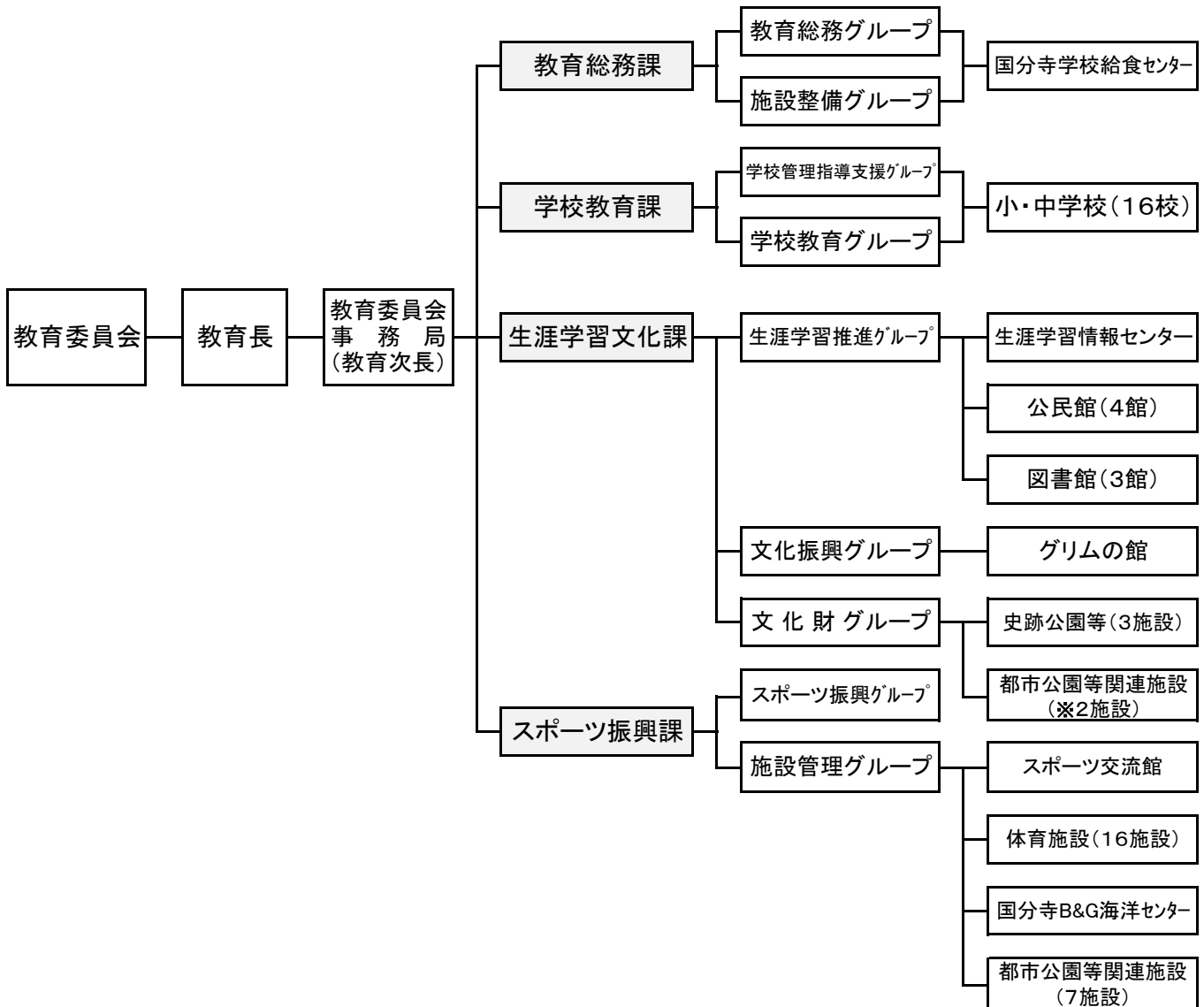
「文化遺産の保存と活用」を基本方針とする評価対象3事業について、各委員から、次のような意見が出されました。「下野国分寺跡保存整備完成記念事業」については、「しもつけ薪能」の盛況ぶりや、「能楽体験教室」と「能楽鑑賞講座」が好評を博したことなどを高く評価する意見が出されました。「甲塚古墳保存整備事業」については、機織型埴輪が全国的に注目を集めていることや、下野薬師寺跡史跡まつりに他県から多数の見学者が訪れたことなどを高く評価する意見が出されました。「文化財保護事業」については、干瓢関連の生産機材の収集・保存・資料作成や、市指定文化財の修理等のための補助金新設などを高く評価する意見が出されました。

下野市教育委員会は、活動の活性化に向けて積極的な取り組みを続けて来られました。今回の点検・評価において各委員が示した意見を参考としつつ、今後の一層の事業の発展を図られるよう期待します。

関係資料

1. 下野市教育委員会事務局組織図
2. 下野市教育委員会点検評価に関する条例

下野市教育委員会事務局組織図



【各施設明細】

◆小・中学校

- 1 薬師寺小学校
- 2 吉田東小学校
- 3 吉田西小学校
- 4 祇園小学校
- 5 緑小学校
- 6 石橋小学校
- 7 古山小学校
- 8 細谷小学校
- 9 石橋北小学校
- 10 国分寺小学校
- 11 国分寺西小学校
- 12 国分寺東小学校
- 13 南河内中学校
- 14 南河内第二中学校
- 15 石橋中学校
- 16 国分寺中学校

◆公民館

- 1 南河内公民館
- 2 南河内東公民館
- 3 石橋公民館
- 4 国分寺公民館

◆図書館

- 1 南河内図書館
- 2 石橋図書館
- 3 国分寺図書館

◆史跡公園等

- 1 下野薬師寺跡ふるさと歴史の広場
(下野薬師寺歴史館)
- 2 小金井一里塚
- 3 テーマ館

◆体育施設

- 1 南河内球場
- 2 五千石球場
- 3 西坪山球場
- 4 南河内テニスコート
- 5 南河内ゲートボール場
- 6 南河内東部運動広場
- 7 南河内体育センター
- 8 南河内東体育館
- 9 南河内武道館
- 10 南河内弓道場
- 11 石橋体育センター
- 12 石橋武道館
- 13 石橋弓道場
- 14 国分寺聖武館
- 15 国分寺武道館
- 16 国分寺静思館

◆都市公園等関連施設

- 1 別処山公園
- 2 祇園原公園
- 3 諏訪山公園
- 4 大松山運動公園
- 5 国分寺運動公園
- 6 柴公園
- 7 みのわ古城公園
- 8 ※下野国分尼寺跡公園
- 9 ※下野国分寺跡
(しもつけ風土記の丘資料館)

○下野市教育委員会点検評価に関する条例

平成25年3月22日

条例第11号

改正 平成27年3月20日条例第20号

(趣旨)

第1条 この条例は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第26条の規定に基づき、下野市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価（以下「点検評価」という。）を実施することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、その実施に関する必要な事項を定めるものとする。

(平27条例20・一部改正)

(点検評価の対象)

第2条 点検評価の対象は、教育委員会の権限に属する事務事業全般とし、下野市教育計画に掲げた施策事業のうち、教育行政の推進上での主要事業、その他点検評価を行うことが必要と認める事業とする。

(点検評価の実施)

第3条 点検評価は、毎年度1回、対象事業の取組状況、実施による成果及び課題等を分析検討の上、今後の取組の方向性を明らかにするものとする。

(外部評価委員会の設置)

第4条 教育委員会は、前条の点検評価の実施に関し、その客観性の確保を図るとともに、法第27条第2項に規定する教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、教育委員会点検評価外部評価委員会（以下「外部評価委員会」という。）を設置する。

(外部評価委員会の所掌事務)

第5条 外部評価委員会は、教育委員会の実施した点検評価について、意見を述べるものとする。

2 外部評価委員会は、前項の意見について、取りまとめた結果を教育委員会に報告するものとする。

(外部評価委員会の組織)

第6条 外部評価委員会は、5人以内の委員で組織し、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱する。

(1) 学識経験者

(2) 教育委員会が必要と認めた者

2 外部評価委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

3 外部評価委員会に委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

4 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

5 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指定する委員がその職務を行う。

(報告及び公表)

第7条 教育委員会は、点検評価の結果に関する報告書を作成し、市議会に報告するとともに、市民へ公表するものとする。

(庶務)

第8条 点検評価の実施に関する庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(補則)

第9条 この条例に定めるもののほか、点検評価の実施に関して必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この条例は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成27年3月20日条例第20号) 抄

(施行期日)

1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。

平成27年度（平成26年度事業） 栃木県下野市教育委員会点検・評価報告書

お問い合わせ先

発行者 栃木県下野市教育委員会

編集 教育総務課

〒329-0594 栃木県下野市石橋552-4

電話：(0285) 52-1117 / FAX：(0285) 52-2624

E-mail：kyouikusoumu@city.shimotsuke.lg.jp

ホームページ：http://www.city.shimotsuke.lg.jp